

## 第13回福島問題予備研究会議事録

平成28年3月28日

日時：平成28年3月25日（金） 15:00～17:30

場所：協立会館1Fサイゼリア&化学工学会会議室

出席者：小林、郷、鈴木、中尾、松井、松田、横堀、橋本(文責)（敬称略）

添付資料

A：化学工学会第81年会 セッション「福島原発事故対策検討委員会・福島原発事故復興促進への化学工学の寄与」参加報告

B：第81回年会事故対策委員会シンポジウム雑感、第8回福島事故対策委員会

C：第13回福島問題予備研究会 討議用メモ（報告事項）

D：福島第一原発事故に向き合って一福島問題予備研究会

E：福島問題予備研究会：平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画案

### (1) 連絡・報告事項

1) 化学工学会第81年会参加報告：(橋本、小林) 添付資料A, B参照。

特記すべき報告は下記3件。

- ・東海大学／浅沼準教授；公開情報から1Fでの汚染水、瓦礫、伐採木の処理問題点を抽
- ・東芝／池田氏；現在に至るまでの汚染水処理に係る吸着設備の実際を体系的に報告。
- ・東大／酒井教授／シミュレーション技術を駆使された講演は化学工学的独創性を示す

2) 第8回福島原発事故対策検討委員会(81年会・会場で開催)報告：(小林) 添付資料B参照。

- ① 本委員会は学会内常任委員会となる。
- ② 今後、NDF, IRID, 東芝、日立と話をしていく。
- ③ HPに化学工学会員の研究発表ページをつくる。

3) 原子力学会その他機関主催のシンポジウム等への参加報告：(横堀) 添付資料C参照。

原子力学会倫理研究会、放射性教育フォーラム、原子力学会シンポジウム(東京電力福島第一発電所廃炉への取り組みー過去・現在・未来、他への参加報告があった。

4) 化工誌5月号 SCENet コーナーへの紹介記事「福島第一原発事故に向き合って」：(横堀)

### (2) 平成27年度活動総括と次年度活動目標について：(横堀) 添付資料E参照

1) 平成27年度活動報告：省略

2) 平成28年度活動計画案

### ① 活動目標

研究会は、福島第一発電所の廃炉推進やオフサイトの環境修復(除染)にかかわる諸問題に対する情報交換、意見交換の場とする。SCE-Net 内、外の関係者との連携を強化し情報収集、情報発信を行う。

### ②活動内容

- ・原発事故に伴う各種課題の解決方法を探る(関連学協会との連携を通じ提案・提言)
- ・公開講座やホームページ等 WEB 上での情報発信も大事である。
- ・研究会としての意見は統一見解に基づくべきである。
- ・個人的見解の発表の場として、「やぶにらみ記」というようなジャンルを設けることも必要。
- ・外へ発信するときは、自分たちで「見る」、「聞く」、「調べる」ことが大前提である。

### (3) その他

- ・研究会の名称について：「福島問題研究会」とする。
- ・次回予定：5月10日(火)14：00～、化学工学会・会議室

以上